

SATAKE, NAOMI SOPRANO RECITAL

EMILY

英米歌曲シリーズ Vol.1

E.ディキンソンとA.コーブランド

DICKINSON

佐竹由美ソプラノリサイタル



アメリカの詩人たちの詩選集に
目を通して、
エミリー・ディキンソンの詩が
目に飛び込んで来た。
そこには彼女の個性が息づいており、
選ば抜かれた言葉は新鮮で他に
類を見ない独自性を持ち、
そしてこの上なくアメリカ的であった。
——— A.コーブランド

& AARON
COPLAND

佐竹由美 SOPRANO
江口玲 PIANO

PROGRAM

A.コーブランド 「エミリー・ディキンソンの12の詩」
AARON COPLAND "TWELVE POEMS OF EMILY DICKINSON"

J.デューク 「エミリー・ディキンソンによる6つの詩」
JOHN DUKE "SIX POEMS BY EMILY DICKINSON"

R.バクサ 「エミリー・ディキンソンの歌」
ROBERT BAKSA "EMILY DICKINSON SONGS"

L.ホイビー 「シャイニング・プレイス」エミリー・ディキンソンの5つの詩
LEE HOIBY "THE SHINING PLACE" FIVE POEMS OF EMILY DICKINSON

主催◎N&A design 朝日新聞社
後援◎財団法人東京二期会
料金◎全自由席4,500円(税込)

【チケット販売・お問合せ】
二期会チケットセンター03-3796-1831
(平日10:00-18:00 土10:00-15:00 日祝・休)

【チケット販売】
東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650
朝日ホールチケットセンター
03-3267-9990

マネジメント◎財団法人東京二期会

2009年9月28日[月] 浜離宮朝日ホール

開演◎19:00 開場◎18:30

SATAKE, NAOMI SOPRANO RECITAL
EMILY DICKINSON
& AARON COPLAND
佐竹由美ソプラノリサイタル

E.ディキンソンとA.コープランド

英米歌曲シリーズ Vol.1

1950年。E.ディキンソンの詩に強烈な印象を受けたA.コープランドは、歌曲作品への約20年間の沈黙を破り、アメリカ芸術歌曲史におけるもっとも重要な作品である連作歌曲「エミリー・ディキンソンの12の詩」を完成させた。そこには人生半ばを迎えたコープランドが生涯を通して求め続けた「アメリカ独自の芸術」を表現するに値する鮮烈な言葉があり、彼女の詩こそがコープランド自身のもっとも深い感情の証しであり、音楽的頂点を迎えた彼の創造の要求を駆り立てたのである。共にそれぞれの時代における優れた「現代」の芸術家であり、アメリカの先駆者的立場の詩人ならびに作曲家であったディキンソンとコープランド。英米歌曲シリーズ第1夜はこの二人に焦点を当て、今や多くの作曲家が詩人として取り上げるディキンソンの詩による歌曲作品をお届けいたします。

PROFILE

佐竹由美 SATAKE, NAOMI

SOPRANO

東京藝術大学及び同大学院博士課程修了。在学中、東京藝大「メサイア」公演のソリストとしてデビュー。学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。ロータリー国際親善奨学生として渡伊。第53回日本音楽コンクール第2位入賞、同時に最高位に贈られる福沢賞受賞。イタリア・ナポリ市国際音楽コンクール第2位入賞。ライプツィヒ第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。

バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「カンタータ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」「ハ短調ミサ」、ハイドン「天地創造」等、宗教作品のソリストとしての活躍は目覚しく、その確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で常に高い評価を得ている。また各地でのリサイタルや日本歌曲などのコンサート活動をはじめ、現代作品においても作曲家諸氏から絶大な信頼を得て数多くの新作作品の紹介に関わっている。大学院博士課程においてはS.バーバー、A.コープランドなど、20世紀アメリカ芸術歌曲をテーマに研究・演奏を行う。

オペラにおいても二期会、東京室内歌劇場、日本オペラ振興会などに主要キャストとして活躍、近年はテスティ、ヘンデル、パーセルなどのバロックオペラにも出演、好評を博す。2009年2月より文化庁芸術家在外研修員としてニューヨークにて研鑽を積む。

2005年ソロアルバム『A Lei ~ あなたへ』、2008年『A Singing Bird ~ 歌う小鳥』（日本アコースティックレコード）をリリース。その他『世界の愛唱歌』『ジョイフル・クリスマス』（キングレコード）、『バッハ・カンタータの森を歩む』I・II・III（東京書籍）、『バッハ幻の結婚カンタータ』（毎日クラシックス）、シューマンオラトリオ『楽園とペーリ』、国枝春恵作品集『セラフィム』、木下牧子室内楽作品集『ふるえる月』等がある。

よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞受賞。国立音楽大学、東京藝術大学非常勤講師。アンサンブル《BWV2001》メンバー。二期会会員 公式ホームページ <http://www.satakes.com/>

江口玲 EGUCHI, AKIRA

PIANO

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、ジュリアード音楽院のピアノ科大学院修士課程、及びプロフェッショナルスタディーを修了。現在、欧米及び日本をはじめとするアジア各国でのリサイタルや室内楽、協奏曲等で活躍し、ギル・シャハム、竹澤恭子、アン・アキコ・マイヤース等、数多くの弦楽器奏者たちから共演者として絶大な信頼を得ている。2002年春にNYS CLASSICSより発売されたソロアルバム、「Dear America」はレコード芸術から特選盤に選ばれ、「極上のエンターテインメント」「ガーシュインの霊が乗り移ったかのよう」と評された。また、二枚目のアルバム、「巨匠たちの伝説」（03年6月発売）はカーネギーホールオープン時にステージ上にあった87年製のピアノを使用し、カーネギーホールで録音された。このCDもレコード芸術から特選盤の評価を受け、二枚連続選出の快挙となった。最新盤「Pictures at an Exhibition」は、作曲・編曲者としても実力を備えた江口ならではの大胆な解釈と表現方法で「展覧会の絵」に新たな光を当てる名盤と言える。

PROGRAM

A.コープランド AARON COPLAND
「エミリー・ディキンソンの12の詩」

“TWELVE POEMS OF EMILY DICKINSON”

1. NATURE, THE GENTLEST MOTHER
2. THERE CAME A WIND LIKE A BUGLE
3. WHY DO THEY SHUT ME OUT OF HEAVEN ?
4. THE WORLD FEELS DUSTY
5. HEART, WE WILL FORGET HIM
6. DEAR MARCH, COME IN !
7. SLEEP IS SUPPOSED TO BE
8. WHEN THEY COME BACK
9. I FELT A FUNERAL IN MY BRAIN
10. I'VE HEARD AN ORGAN TALK SOMETIMES
11. GOING TO HEAVEN !
12. THE CHARIOT

J.デューク JOHN DUKE
「エミリー・ディキンソンによる6つの詩」

“SIX POEMS BY EMILY DICKINSON”

1. GOOD MORNING, MIDNIGHT
2. HEART ! WE WILL FORGET HIM !
3. LET DOWN THE BARS, OH DEATH
4. AN AWFUL TEMPEST MASHED THE AIR
5. NOBODY KNOWS THIS LITTLE ROSE
6. BEE ! I'M EXPECTING YOU !

R.バクサ ROBERT BAKSA
「エミリー・ディキンソンの歌」

“EMILY DICKINSON SONGS”

HEART ! WE WILL FORGET HIM !
I'M NOBODY
THIS IS MY LETTER TO THE WORLD

L.ホイビー LEE HOIBY
「シャイニング・プレイス」

エミリー・ディキンソンの5つの詩

“THE SHINING PLACE”

FIVE POEMS OF EMILY DICKINSON

1. THE SHINING PLACE
2. A LETTER
3. HOW THE WATERS CLOSED
4. WILD NIGHTS
5. THERE CAME A WIND LIKE A BUGLE

※やむを得ぬ事情により内容が一部変更になる場合があります。予めご了承下さい。